

## 桑名市民病院の再編統合と地域医療の充実に関する決議

公立病院の課題は、国の定める公立病院改革ガイドラインにおいて、公立病院改革として、(1) 経営効率化、(2) 再編・ネットワーク化、(3) 経営形態の見直しの3つの視点を示し、当市では、平成18年6月「桑名市民病院あり方検討委員会」から「桑名市民病院の400床前後の二次医療が可能な自己完結型の急性期病院の早期実現」の答申を受けている。

これにより、桑名市民病院は、昨年10月に平田循環器病院と再編統合すると同時に、地方独立行政法人化し313床を有する病院となった。

桑名市民病院の地方独立行政法人化は、経営形態の見直しの一環として、改革の第1歩を踏み出したといえるが、桑名の地域医療を守るには、今後、より一層の経営効率化、再編ネットワーク化が必要と考える。

一方、現在の当市の地域医療を取り巻く情勢は、医師・医療従事者の不足など厳しい状況にあり、当市の今後の二次救急医療体制（病院群輪番制）、小児救急医療体制は、より一層、厳しい状況になると予測でき、この体制の確保には、二次救急医療の中心となる基幹病院の整備の必要性がある。

また、医療・介護・福祉の連携では、桑名市地域医療対策連絡協議会が設置され、今後、この協議会の事業推進を図る必要がある。

よって地域医療体制の確保と住民福祉の向上に向け、地方自治体の責務として、特に、下記事項について強く要請する。

## 記

- (1) 桑名市民病院の今後に関しては、桑名医師会と中心的な医師派遣元となる三重大学付属病院医局と協議の場の設置や、三重県・外部有識者からの意見聴取により、中核的な民間病院との再編統合に向け調査・研究し、あらゆる視点から検討・協議され推進すること。
- (2) 桑名市地域医療対策連絡協議会に設置される「地域医療提供体制部会」で出された諸課題の解決に努めること。
- (3) 医療・福祉・介護の連携のため、桑名市地域医療対策連絡協議会に設置される「医療と福祉、介護等との連携部会」で出された諸課題の解決に努めること。

以上、決議する。

平成22年9月28日

桑 名 市 議 会